

**たんほほ**

NO 106  
 昭和8年4月1日  
 一 発行一  
 〒869-12  
 熊本県 菊池郡  
 大津町 森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
**三気の里**  
 ☎096-293-8100

送る言葉

理事長 田中 稔

三気の里の開所には、いろいろな時、運、人との巡り合わせが関わっています。どれ一つ欠けても恐らく今の三気の里は存在しなかったと思われます。それ程きわどい、神が味方してくれたと思わざるを得ないと振り返って思います。

その中でも土井施設長との出会いは、最も大きなものでした。

土井君との出会いは私が熊本大学の医学部の学生の頃、同じ法文の学生で、あるボランティアのサークルで出会いました。互いに、その頃盛んになってきた学生運動等の影響を受けながら、人生や社会のことに関心をもち続けていきました。私たちの結婚式は会費制のささやかなものでしたが、土井君も来てくれました。

そうして何年か別の人生を歩き再び出会った時には私は自閉症児

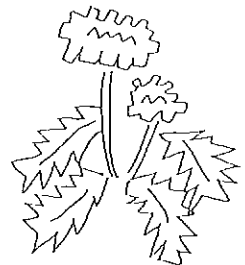
の父で、彼は療育する側にいました。私は既に子供の施設を作ることに取り付かれています。自閉症者を4〜5人預かっては大変なのに40〜50人も自閉症者ばかり集めて狂気の沙汰だと言われていた時代でした。狂気がなければやれない事業でした。

作った後、自分の医業に縛られていた私は、誰に施設を預けるか悩んでいました。そんな時、彼に会いました。彼しかいないと思いましたが。既に東京で自分の地位を固めつつあった彼と、ご家族の人生おま変えることになるのを危惧しながら、無理なお断りをしました。

どんな事業でも、最初の3日、3週間、3ヶ月、3年がその後の30年の、その事業の姿を決める事になります。第一期生の若い職員と力を合わせて、皆さんがご覧になられて、既にご存じの様な立派

な仕事をして、荒野に道を切り開いてくれました。彼は友人であり共に道を歩くものであり師であり人生のライバルであります。

これから自分の夢に向かって旅立ってゆく彼に、肥満気味で喫煙する健康を心配しながら、大いなる感謝の気持ちをもって、これからの人生にエールを送りたいと思います。ありがとうございます。(尚、彼には法人の理事としてこれからも三気の里に関わっていただきます。)



▽弥生3月、例年になく厳しかった冬もようやく終わりを告げているようだ。梅が咲きはころび、次はさくらへとバトンタッチされるように開花予報も耳にする。ここ三気の里でも、駐車場の前の白梅、紅梅も順番に咲き競った。私もしばらくの間、堪能させて頂いた。

▽3月は、卒業や巣立ちのシーズンである。我が三気の里でも土井園長が3月を以って退職された。屋台骨をゆるがすような旅立ちを見送る事になった。

▽土井園長は、開設から9年間施設長という重責を担い、数々の苦勞を笑顔で吹き飛ばされた。数々の教えを頂き、ありがとうございます。そして、新たな施設・野々島学園でのご活躍、発展をお祈り致します。

▽私事だが、次男が今春小学校を卒業した。自信に満ちた凛々しさに、私の知らない息子の成長を見て、少々気圧される思いだった。

▽様々な巣立ちを見送った為か、淋しさか少々筆が鈍っております。春の珍事とお許し下さい。





## 1. 班 - 鍋 (海の幸) パーティー

今月のレクは、交流ホームで保護者の方を交えての“鍋パーティー”となりました。まだまだ外は寒さの厳しい中でしたがホームの中はぽっかぽか。次々に到着されるお父さん、お母さん方の顔を見つけて、皆の顔もほころんでいました。台所では担当の坂井指導員が孤軍奮闘。声をかけるのでさえはばかれるような緊張感が漂っています。さて、気になる鍋の中身ですが、カニ、海老、魚の白身・すり身、白菜、ネギ、それにお豆腐と盛りだくさん！…あつあつの所をほうばって、体の芯までぽっかぽかです。上着はもちろん、セーターや、トレーナーまで脱いでしまいました。そんな中で一人頑張っていたのが健二くん。額には汗がにじんでいましたが、どうしても脱がないと拒んでいます。(それだけ(服の脱ぎ着分)帰るのが遅くなると思っているんですよ。というお父さんの話です。)笑いながら「脱いだらいいのに…」と言いましたが、頑なに首を横に振っていました。

そして、栄養に気を配って頂いたのが小島さん。皆の器に「あなたはまだ野菜が足りないわ。」と、つぎ分けてくださったり、「ご飯はこれでおしまいね。」と、食べ過ぎにも注意してくださいました。

そんなアットホームな雰囲気の中、NEWFACEの静海ちゃんと、その御両親の笑顔もあります。楽しく過ごされたでしょうか。またのご参加をお待ちしております。 坂本

## 2. 班 - 新しい班への4人の移動

現在17名の園生が作業を行っているネット班では、作業の工程を4段階の分け、園生それぞれに合った部署でもっている能力が発揮されるように配置しています。作業棟も作業エリア(机、椅子、作業道具が置いてある。)と休憩エリア(机、ソファ、テレビなどが置いてある。)に分け、居る場所によって何をやる時間かが解るようにして混乱を防いでいます。外出のときも、今までは全員一緒に行動していたのを先月から、2~3グループに分けてそれぞれのグループに合った場所に行くようにしました。そうすることによって皆が混乱なく楽しめる外出を目指しています。

4月からは体力や能力に合ったグループが生まれます。そこにネット班から忠ちゃん、宣陽さん、幸恵ちゃん、晃子さんが移動します。新しいグループでも今まで通りに自分のもっている能力を充分に発揮して新しいグループの“顔”になって下さい。 田邊

## 3. 班 - 変更に伴うお別れ

作業班編成の変更に伴い、木工班のメンバーも変更となることになりました。新班編成の2班Aに移動することになったのは、赤池さん、平野(博)さん、藤原さんと松下指導員。5班に行武さんです。今まで一緒に頑張ってきたので、同じ班でなくなるのはとてもさみしいのですが、これからも三気の里のメンバーとして、仲間として一緒にやっています。さみしがらずに2班の方で頑張ってくれるのを見守っていきたいと思います。担当の方も変更になっています。松下指導員の担当が、石井指導員と私(高橋)の方になります。真一郎くん、希久男くん、稔くんです。竹下くんは今村指導員になります。変更となる保護者の方々よろしくお願い致します。変更とならない保護者の方々もこれまで同様よろしくお願い致します。3月26日は、木工班平成7年度の最後のレクリエーションです。おもいっきり楽しんでお別れ会としたいと思います。 高橋

#### 4班 - 出発（旅立ち）

春一番もようやく到来し、ぼちぼちと桜が咲き始めて来ている頃と思います。

今年度も、農耕班はいろいろな野菜に挑戦しました。中には、多量の降雨によって畑がプールの様な状態になり、さつまいもが水に浸かったり、たくさん植えたとうもろこしがうまく育たず1本も収穫ができなかったりとなかなか思うように行かない所もありましたが、この1年間を通してキャベツ、白菜、大根、ホウレン草、etc…。数々の野菜を収穫することができ、その度にみんなの顔がほころんでいました。来年度はその笑顔がもっともっと見られるように自然を相手にみんなで頑張っていくね。

高田

#### 5班 - 新しい船出

三寒四温の言葉通りに一歩一歩春の近づきを感じるこの季節、春一番と競うかのように野には菜の花が、三気の里にはレンギョウが黄色い花を綻ばせています。私たち園芸班も冬眠状態から覚めて活動を始める時期になりました。昨年末から建設を行っていた温室も後一步というところまでたどり着き、やっと雨風の中でも計画的に作業に取り組みそうです。

又、新年度からは洗濯物の仕分けも受け持つことになりました。3月中に2週間の練習をして4月から本番ですが、頑張りやのみんなのことで職員心配等他所に乗り切ってくれるものと信じています。次にメンバーとしてはるり子さんが2班へ移動し、3班から久美加ちゃんが来ることになりました。2人とも新しい班での生活を楽しんでほしいと願っています。

これから13名の仲間と再スタートを切ることになりましたが、この1年、みんなで仲良く元気に楽しく過ごしたいものです。

東



# 療育シリーズ

退任に当たって

團長 土井 尚典

美しい物の上にも、汚い物の上にも分け隔てなく降り注ぐ雨は、小川となり、やがて大河となりまゝ。降り注ぐ一滴一滴の雨が人であれば、上流から海までの道のりは人の人生であります。数多くある雨粒の中に障害者が含まれています。大きな河の流れの中で、施設という器で掬ったところで、ほんの一部でしかありません。大半は海へ流れて行ってしまいます。河そのものが福祉の流れでなくてはすべての障害者を救う事はできません。

障害児をもつ親の悩みは、大きな節目があります。1つ目は就学するときです。2つ目は卒業するときです。3つ目は親の老後です。一言に「親の悩み」と言っても分りにくいでしょうが、「何度も子供と一緒に死のう」と思ったり、時には「首に手をかけたり」、よくここまで親子共々生きて、今日あるのが不思議なくらいだとおっしゃいます。生きて今日あること事態が物凄いいことなのです。施設

はそれぞれの節目で、役割を担っています。

障害者への援助・指導の立場からみると、1つ目は、まず落ち着いた暮らしを提供することです。2つ目はその子のもっている能力一杯に生きてもらうことです。3つ目は障害者の一生を通して必要な時期に必要な暮らしと援助を提供することです。施設という枠の中では容易に解決できません。しかし、親や大人がやってやれる唯一のこともあります。

このことは、私達の進む方向を照らしています。法人役員、施設職員、保護者及び情味あふれる地域の方々と一緒に頑張って明るく楽しく、時にはきびしく、あたたかい施設作りをやって欲しいと願います。

療育シリーズは今回で一度ペンをおきます。三気の里の園生と職員との語り合いから書き留めたものですが、九年間よく続いたものです。ご愛読ありがとうございます。

皆様のご健勝と三気の里へのご支援をお願いしつつご挨拶に返させていただきます。

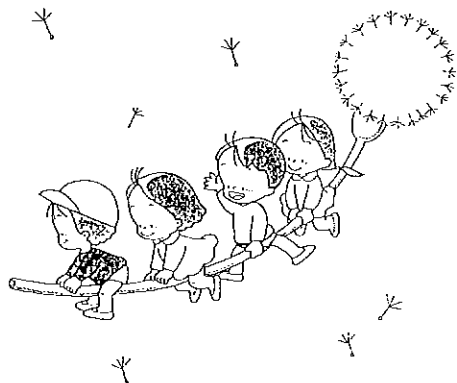
## 野々島学園の開園式・入園式のご案内

時：平成8年4月8日(日)午後2時～3時  
所：野々島学園

どなたでも、ご自由にご参加いただき、祝っていただければ幸いです。

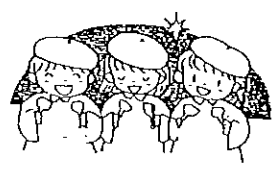
社会福祉法人 豊火の会（あしびのかい）

施設（通せん）  
中心（のし）  
中（の）  
障害者（の）  
閉性（の）  
精神（の）  
野々島学園（の）  
住所：野々島市西合志町2774-4  
〒861-11 電話：096-242-6811



ふれあいレクリエーション  
有働 和美

少し肌寒い風が吹いていた3月10日、大津町社会福祉協議会の主催で、ふれあいレクリエーションが開かれました。今年には三気の里から音楽クラブがミュージックベルの演奏を発表することになり、1カ月前から昼休みを利用して練習を重ね、ばっちりO・Kでした！が、いざ本番となると今まで笑っていた久美加ちゃん、ふざけていた宏幸君、幸恵ちゃんが硬直状態。人前での演奏も少し慣れて来たはずだったので、全く知らない人の前だと少し違ったのでしょいか？しかし、低音、高音、共にきれいにはもって美しい曲を奏でていました。ちなみに曲目は「さくらさくら」と「翼をください」でした。次回は三気の里の開園記念祭で連う曲を演奏する予定です。でお楽しみに！今度は大丈夫ですよ？多分…



サヨナラ土井園長

指導員・坂井省英

9年前の今頃のことだった。風体も動きも泰然自若の土井園長が、自閉症という障害について何も知らない職員を前にして、自閉症についての蘊蓄ではなく、仲良くなっ

てほしいと話された。障害や問題行動が重要ではなく、その人ソノモノを見てほしいと熱く語られていた。その日から、1期目入所25名の園生との生活が始まった。マンツーマンでの対応も俵ならぬ毎日の連続だった。

張ろうと声をかける事が唯一の方法だった。彼が降車したのは陽もとつぶり暮れた頃だっただろう。

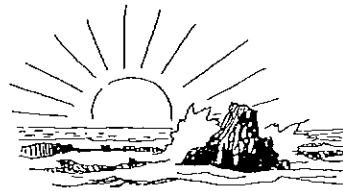
その対応の中で、三気の里での幾つかの指導方針が固まる事となった。混乱のスタートからゴールまで同一の職員が当たる。望まれる行動の方へ導くようなポジションを探る、対峙法。行動のルールは、社会規範に近づけるよう努める。と言った基本方針が生活の中から生まれた。

その後も沢山の問題行動と言うトラブルが、私たちを襲い、私たちを育てた。その対応に開所から1週間は、全員が泊り込んだ。夜中までのミーティングは1ヵ月に及んだ。その間、園長は職員と寝食を共にすごされた。マニュアルは存在せず、トラブルが私たちのテストで、答は悩む事が全てでした。

9年の歳月はあつという間でした。「どんな答も正解で、苦しむ事が答を導く方程式だ」と教えてくれた。そして、一緒にものがき苦しんでくれた9年間。そんな毎日が、私の宝物です。多くの園生が加わり、多くの職員が入れ替わりました。今でこそ分った様な顔を

している私たちですが内心不安で一杯です。

決して尽きる事のないトラブルに、四苦八苦する三気の里の園生と職員を優しく見守って下さい。土井園長！9年間ありがとうございました。



食良堂土岩言葉中

食事の時間が終わると、献立を見にくるメンバーがいます。一精くん、敬ちゃん、哲ちゃん、新ちゃん、宏幸くんです。「好きなものでも載っていたかな。」「新ちゃんは、うどんを指してうれしそうにうなずきます。宏幸くんは、「土曜日コーヒー牛乳だ」と、喜んで私たちに話しかけてくれます。献立に興味をもってくれると、私たちも仕事にエンジンがかかります。

村上

栄養の話

アボガドには、ミネラルやビタミンが多く含まれていますが脂肪分、タンパク質も多いのです。アボガドを食べるとき、半分は切つて、種を取った所にヨーグルト、レモン汁を混ぜ合わせて食べると、さっぱりして食べやすく、栄養がいっぱい摂れます。アボガドは緑色の皮が黒くなったら、頭とおしりを軽く押さえてみて、ちよつとへっこむくらいが食べごろです。今度から皆さんもアボガドを試してみして下さい。



上村

新入園生紹介

静海さん

愛称は「しーちゃん」です(とても若い17歳)

特技はピアノ伴奏で変調も自由自在です。(凄いですね)お風呂とおやつと手紙を書くことが大好きという陽気な彼女を皆さんよろしく!



4月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
	1	2	3	4	5	6	
				武彦くんの誕生日(23)		中本くんの誕生日(25)	
7	8	9	10	11	12	13	
	海野女高学園開式			中嶋くんの誕生日(28)		保護者会・一斉帰宅 越ちゃんの誕生日(28)	
14	15	16	17	18	19	20	
			海野学園開式		タンポポ集 森くんの誕生日(22)		
21	22	23	24	25	26	27	
						帰省バス運行	
28	29	30	武彦くん、中本くん、中嶋君、越ちゃん、森くん、誕生日おめでとう！ 13日(土) 保護者連絡会・一斉帰宅 27日(土) 帰省バス運行				



新入園生紹介  
明日香さん

18歳になったばかりのおちゃめな明日香ちゃん。雑誌を読んだり、テレビを見ることが大好きで、笑顔が魅力的。特にお気に入りの番組が始まる時の笑顔は最高だと評判です。皆よろしくね！



冬季実技研修

麻生 由紀

去る3月8日、愛護による冬季実技研修が行われました。今年はず年まで行われていたバドミントンがボーリングに変わり、三気の里からもボーリングに4名、ミニバレーに1チーム参加しました。今回は、ボーリング・ミニバレー

ボランティア通信

梅や菜の花が美しく咲き、三気の里でも春の訪れを感じる今日このごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年度もいよいよ終わろうとしています。一年間、多くの行事にたくさんの方々のボランティアの参加・協力して下さった事を心より感謝します。

卒業のシーズンとなり、三気の里にボランティアに来て下さった方々の中には、進学される方、社人になられる方と様々だと思います。今年度も楽しい行事を予定しておりますので、また暇を見つけては三気の里に遊びに来て下さってお待ちしています。

- （ボランティアありがとう）
- ☆散髪 清田純一 松尾博美
- ☆ブラッシング指導 森隆子
- ☆生け花 西村栄子

編集後記

私がタンポポ編集を始めて一年が経ちました。四月には厨房にも新しく栄養士が一人加わり、これまで以上に仕事を頑張ります。

上村